協　働　評　価　シ　ー　ト

<table>
<tr><td colspan="2">事業名</td><td colspan="2">「別子往還道　登り道―記憶の継承と街の新たなデザイン提案―」事業</td><td colspan="2">実施年度</td><td>平成25年度</td></tr>
<tr><td colspan="2">部　局</td><td>企画部</td><td>課　所</td><td colspan="2">別子銅山文化遺産課</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">団体等の名称</td><td colspan="5">www.にいはま温故知新隊</td></tr>
<tr><td colspan="4">評価項目</td><td>評価者</td><td colspan="2">評価</td></tr>
<tr><td rowspan="2">相互理解</td><td rowspan="2">それぞれの特性や立場を理解し合えたか</td><td colspan="2" rowspan="2">お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。</td><td>団体等</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td>市</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対等</td><td rowspan="2">双方が対等の立場に立っていたか</td><td colspan="2" rowspan="2">対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。</td><td>団体等</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td>市</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自主</td><td rowspan="2">市民の自主的な活動が尊重されたか</td><td colspan="2" rowspan="2">自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。</td><td>団体等</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td>市</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自立</td><td rowspan="2">市民の自立化を阻害しなかったか</td><td colspan="2" rowspan="2">依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。（新たな自発的事業展開につながり自立化が進んだ場合はＡ評価）</td><td>団体等</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td>市</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td rowspan="2">目的共有</td><td rowspan="2">双方が協働事業の目的を共有できたか</td><td colspan="2" rowspan="2">協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。</td><td>団体等</td><td colspan="2">B</td></tr>
<tr><td>市</td><td colspan="2">B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">情報共有</td><td rowspan="2">双方がお互いの情報を共有できたか</td><td colspan="2" rowspan="2">情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。</td><td>団体等</td><td colspan="2">B</td></tr>
<tr><td>市</td><td colspan="2">B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">公開</td><td rowspan="2">双方の関係を十分に公開できたか</td><td colspan="2" rowspan="2">全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。</td><td>団体等</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td>市</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">「相乗効果」が発揮され､独自で行うよりも効果的と認められるか</td><td colspan="2" rowspan="2">「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。</td><td>団体等</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td>市</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか</td><td colspan="2" rowspan="2">十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。</td><td>団体等</td><td colspan="2">A</td></tr>
<tr><td>市</td><td colspan="2">A</td></tr>
</table>

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

団体等	登り道界隈の魅了を掘り起こし、ブラッシュアップをかける等の過程を通じて、地域はもちろん、地域外の方々とも新たなネットワークを構築することができ、マップ製作後の取り組みや展開についても可能性が広がった。
市	構想から具体的情報収集、マップ作製まで会合を数限りなく開催した。参加者は、少人数のときもあれば、２０名を超える時もあり、世代的にも老若男女おりまぜて意見を聞くことができた。参加者の積極性により、会が支えられ、牽引され、それぞれの見聞も広がった。
相互協議結　　果	上述のとおり地域の方の積極性とで進められたが、単なる会合だけでなく、街中ツアーなどを利用し情報を収集したことにより、新たな発見とともに地域に対する関心とその輪が広がり、協働事業の一定の目的を達成できたと考える。成果品としてのマップは、地域のイベント等で配布し、年配者と子供たちの口伝伝承の材料になればと考えている。